

事業報告（第 8 事業年度）

自 令和 4 年 4 月 1 日

至 令和 5 年 3 月 31 日

公益社団法人 OMOIYARI プロジェクト

1 概況

本年度は、新型コロナウイルスワクチンの確保ができ、同ウイルスのリスクが軽減されたことから、職親プロジェクト関西の8事業全てで活発に活動ができた年でありました。

特に拠点・支部支援事業、仕事フォーラムの実施事業及び社会復帰職業体験事業においては目を見張るものがあり、今後もより事業の定着、また拡大に向けて各事業を推進します。

2. 公益目的事業 1

(1) 相談業務

支援者数 令和5年3月期 5名

(2) 日常生活や医療費支援

支援者数 令和5年3月期 0名

(3) 就労支援

支援者数 令和5年3月期 2名

(4) 就労後の支援

支援者数 令和5年3月期 1名

(5) 上記(1)から(4)の支援に付随し、出所者、出院者、就労者、支援者の社会復帰の促進等のために、行政や地域団体から講演要請があった他者主催事業は以下の通り。

①東淀川保護司会 自主研修会での講師

1月7日 大阪市東淀川区「東淀川区民ホール」

②地域総合センター塚口主催 地域課題講演会「お前の親になつたる」講演

2月2日 兵庫県尼崎市「地域総合センター塚口」

③大阪府社会福祉士会 北河内支部主催 全体会議・研修会での講師

3月18日 大阪府門真市「文化会館ルミエールホール」

④東大阪地区保護司会臨時総会及び第4期定例研修会での講師

3月27日 大阪府東大阪市「文化創造館ジャトーハーモニーホール」

3. 公益目的事業 2

(1) 職親企業の入会支援事業

ア) 今年度から入会希望者に対し入会説明会を3回実施し、職親プロジェクト入会説明会スライドを分かり易い最新のものに作成し直し、視聴していただくことで、入会書類作成要領及び新規登録の手続き等について理解していただくとともに、法務省コレワーク近畿職員にも協力の下、きめ細かな説明をしていただき分かり易い説明会でありました。

イ) 法務省が開催する「社会を明るくする運動」の一環として、矯正広報を目的とする大阪矯正展及び加古川矯正展に協催し、同矯正展で職親プロジェクト関西ブースを

設置していただき、入会案内パンフレットを手渡すとともに、最新版の職親プロジェクト入会説明会スライドを視聴していただき、また、より深く理解をしていただくためパネル等も展示し、取組等の広報に努めることができました。

昨年度職親関西企業 175 社から今年度 3 月末時点では 196 社に増加することができ、登録待ち企業が 28 社となりました。

(2) 職親企業に対する求人支援事業

ア) 季刊誌「さしいれ」の発刊が 4 月にずれ込んだため、2 巻発刊するところ昨年同様 1 巻だけの発行となった。しかし、今年度発刊の「さしいれ」については、職親企業全社の名前を紹介することで、覚えられるようにしたことから、今までは業種での就職希望が多かったが、少数ではあるが、受刑者等から施設の担当職員に就職希望のため、職親企業名を指名してきている事例もある。

イ) 仕事フォーラムで施設の希望する業種の職親企業に、企業の雇用状況や実際聞きにくい賃金に関する話があるなどがあり、社会復帰を希望する受講生には、身近に感じることができたようであった。そのうちの何施設から、採用依頼の連絡がありました。

(3) 仕事フォーラムの開催

今年度に入り職親企業対象の仕事フォーラム(ヒューマンハーバーそんとく塾管轄を除く)が全国 47 施設の刑事施設及び少年施設で職親関西管轄企業延べ 185 社が参加し実施することができた。入所者等からの採用希望が増加し、19 社 104 名を採用することにつながった。

(4) 職業体験

ア) 建設業種の職業体験を加古川刑務所(男子収容区)で、理美容・介護業種の職業体験を同刑務所(女子収容区)でそれぞれ 10 名対象に建設は 10 日間、理美容は 5 日間及び介護は 3 日間の計 18 日間を職親企業 17 社の指導の下実施した。

イ) 飲食業種については、播磨社会復帰促進センターで 10 名を対象に 3 日間、職親企業 3 社の指導の下実施した。

(5) 連絡会議

開催日

第 5 回令和 4 年 8 月 23 日

第 6 回令和 4 年 11 月 22 日

第 7 回令和 5 年 2 月 20 日

計 3 回を行政機関及び職親企業等が参加し、矯正施設の就労支援関係等の紹介、職親

企業からは採用者(出所者)の状況等の報告があり、その後就労に対する討議がなされた。

(6) 職親企業に対する専門的サポート

令和4年8月26日に近畿地方更生保護委員会の協力をいただき、北海道、東北、関東及び関西から20社37名が「職親と更生保護」について研修を受講し、職親企業と矯正施設及び更生保護との関係等を知ることができ、引き受けから雇用までの流れを理解することができた。

(7) 採用者(出所者・出院者)に対するサポート

令和5年3月26日にカンサイ建装工業(株)の京橋寮にて、懇親会を実施した。出所者・出院者の参加は5名、職親企業5社、10名で現在の仕事や生活の状況等語り合い、職親企業参加者から出所者・出院者の不安点や今後目指すことなどについて、アドバイスをしました。

(8) 拠点立ち上げ

職親幹事企業である(株)寿寿 代表取締役 児林氏による積極的な働き掛けにより、北海道支部、宮城支部、関東支部、奈良支部及び徳島支部の5支部を立ち上げることができ、各施設に対するきめ細から採用に対する働き掛けができるようになった。

4. 法人管理

(1) 会員の推移

正会員 本年度5名 前年度5名 前々年度5名
賛助会員及び特別会員は該当なし。

(2) 社員総会、理事会の開催

①第7回社員総会

令和4年6月27日

令和4年3月期事業報告等承認の件

②理事会

令和4年6月10日

令和4年3月期事業報告等承認の件

令和5年3月23日

令和5年3月期事業予算計画等の承認の件

③事務局会議

令和4年 4月18日

令和4年 5月30日

令和4年 6月20日

令和4年 7月25日

令和4年 8月 8日

令和4年 8月19日

令和4年10月17日

令和4年11月 7日

令和4年11月18日

令和5年 1月23日

令和5年 2月 6日

令和5年 2月13日

④その他会議

職親プロジェクト関西幹事会

令和4年 8月23日

令和4年11月22日

令和5年 2月20日